

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 高周波熱錬株式会社		住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒 141-0022 東京都品川区五反田2丁目17番地1号 オーバルコート大崎マークウエスト	
本票作成	部署名：IH事業部加工部岡山工場生産技術課				
主たる業種	分類コード	24	業種名：金属製品製造業		
事業の概要	金属製品の熱処理加工				
県内の主な工場等	番号	工場等の名称		所在地	
	①	岡山工場		岡山県総社市久代1408番22	
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kl以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input type="checkbox"/> ③CO ₂ 換算3,000t以上 (●工場等の数 1 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)				

温室効果ガス	基準年度(令和 5 年度)	(令和 6)年度排出量	目標年度(令和 7 年度)
排出量	5,676 t CO ₂	6,088 t CO ₂	5,689 t CO ₂
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和 6)年度排出量
	①	岡山工場	6,088 t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂
			t CO ₂

削減目標の達成状況	計画期間： 令和 6 年度 ～ 令和 7 年度 (2 箇年度)			
	<input type="checkbox"/> 総排出量基準	(6)年度削減実績	目標削減率	目標達成
	<input checked="" type="checkbox"/> 原単位基準	△ 22.2 %	△ 20.7 %	<input type="checkbox"/> : 達成 <input checked="" type="checkbox"/> : 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容 生産重量	原単位当たり排出量		
		基準年度	(6)年度	目標年度
		0.116 t CO ₂ /(t)	0.142 t CO ₂ /(t)	0.140 t CO ₂ /(t)

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和 6 年度)	達成率等
指標の状況				

【削減状況の自己評価】

自動車業界の市場変動が激しく、生産調整による部分稼働等による負荷の変動に合わせたインフラ設備の稼働効率性が悪化したため、前年度比生産重量は減少したが排出量が増加した。 ただし、平日効率稼働及び省エネ活動により基準年度比原単位改善は確認出来るため、引続き、動力系統の省エネ機器の採用、管理部門の明確化、非生産時の電力使用量に着目し、省エネ活動を進める。
--

【推進体制】

- ・省エネ法に基づくエネルギー管理体制のもと、毎月エネルギー使用状況を確認、適宜、対策実施
- ・工場CO2削減委員会にCO2削減活動を推進

【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
岡山工場	<p>(令和6年度実施分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷却ポンプ省エネ機種更新による消費電力低減 ・照明LED化による消費電力低減 ・ハイブリッド戻し炉積載率改善による効率改善 ・人感センサ追加による照明電力低減 ・エア漏れ低減活動によるコンプレッサ負荷軽減 ・コンプレッサ元圧低減による消費電力低減 ・エアコン室内機、室外機更新による消費電力低減 ・エアコン配管断熱材厚み変更による効率改善 <p>(今後実施予定分)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・冷却ポンプ省エネ機種更新による消費電力低減 ・照明LED化による消費電力低減 ・エアコン省エネ機種更新による消費電力低減 ・コンプレッサ最適化更新による消費電力低減 ・コンプレッサ元圧低減による消費電力低減 ・電源装置更新による消費電力低減 ・非生産時使用電気機器見直しによる消費電力低減

【森林保全等吸収源対策への取組】

県内での取組	無	
その他	無	

【再生可能エネルギーの導入】

県内での取組	有	2025年太陽光発電導入
その他	無	

【その他特記事項】

毎年、電力会社見直しを行い、電気料金体系比較とともにCO2排出係数も考慮に入れた電力会社を選定実施。